WebCraft AI 通信

中小企業の現場で、AIをどう使うか

2026年 10月号
Vol.3
発行:WebCraft AI

いつもお世話になっております。WebCraft AI の加藤です。
10月に入り、ようやく過ごしやすくなってきました。今月は**「AI導入が止まる、本当の理由」**について。あわせて、私が資格試験に一度落ちた話をお届けします。今月も3分ほどでお読みいただける分量です。

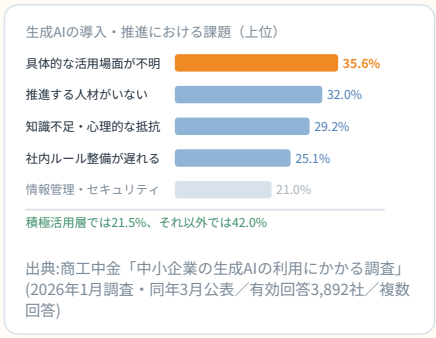
今月の数字 止まる理由の1位は、技術でもセキュリティでもありません

「AIが進まないのは、セキュリティが不安だから」——よく聞く話です。ところが数字を見ると、順位はかなり違いました。

商工中金が中小企業3,892社に聞いた調査で、導入・推進の課題の1位は**「具体的な活用場面が明らかでない」35.6%**。情報管理やセキュリティの不安は21.0%で、上位ではありませんでした。

しかも、すでにAIを積極活用している層では21.5%まで下がる一方、そうでない層では42.0%に跳ね上がります。**使いどころが見えないから始まらず、始まらないから見えてこない**——この循環が実態のようです。

裏を返せば、最初の1つさえ決まれば動き出せる、ということでもあります。



出典:商工中金「中小企業の生成AIの利用にかかる調査」(2026年1月調査・同年3月公表／有効回答3,892社／複数回答)

今すぐ使える一手

AIの「使いどころ」を、AIに探させる



1位の悩みは、AI自身に相談できます。先週1週間にやった仕事を思い出せる範囲で書き出して、下の指示を添えてください。

▼ そのままコピーして使えます

以下は私が先週行った業務です。この中から**生成AIで時間を短縮できそうな作業を3つ**選び、それぞれ「なぜ向いているか」「最初の一歩」を書いてください。**AIに向かない作業は、向かない理由と一緒に除外**してください。

「向かないものを除外させる」が効きます。これがないと何でもできると答えてきます。3つ出たら、まず1つだけ選んでください。

AI活用の実例

生成AIパスポートに、一度落ちました



毎日AIを使っているのだから大丈夫だろう——そう思って受けた試験に、落ちました。**「使える」と「説明できる」は、別のことでした。**そこでAIを勉強相手にして、弱いところを一つずつ潰し、8月に合格しました。

- 答えを聞くのではなく、弱点を探させた
- 丸投げはせず、テキストは自分で読んだ
- 何が分かっていないかが、先に分かる
- 落ちた経験のほうが、結果的に効いた

この話は、noteに詳しく書きました。→ note.com/web_craft_ai「生成AIパスポート合格までの道のり」

よくいただくご質問

Q. 社外に情報が漏れないか、心配なのですが

A. もっともなご心配です。ただ実務では、**入れてよい情報の線引きを決めるほうが先**です。個人情報と取引先の名前は入れない、と紙1枚に書くだけでも事故はかなり減ります。法人向けサービスには入力内容を学習に使わない設定もあります。「使わせない」ではなく「どこまでなら使ってよいか」を決める——この順番をおすすめしています。

お知らせ

DXリーダー研修〈初級編〉 12月・1月の開催枠をご案内中です

社内の有志3〜4名から受講いただける、実務直結型のプログラムです。人材開発支援助成金の計画届は**研修開始の1か月前まで**。**12月開催なら11月上旬**までが目安になります。

3名まで60万円(4名目以降は1名につき+5万円)
助成金の対象となる場合があります



現場から一言 —— 試験に落ちて気づいたのは、**「毎日使っている」ことと「分かっている」ことは違う**、という当たり前のことでした。車を運転できる人が、エンジンの仕組みを説明できるとは限りません。研修でも同じで、操作の上手さより「自社の困りごとを言葉にできるか」のほうが先に効いてきます。落ちたおかげで、そこを腹から納得できました。

編集後記 —— 本紙は、文章の下書きから図版・レイアウトまで生成AIで制作し、PDF版・ホームページ版とも内製しています。3号目となり、制作そのものは型どおりで済むようになりました。**浮いた時間は、数字の裏取りに回しています。**今月の調査も、報道の要約ではなく公表資料そのものに当たりました。掲載する数字は、官公庁・調査機関の一次情報を確認したうえで載せています。

WebCraft AI(ウェブクラフトAI) 加藤 俊一
DXリーダー研修事務局担当 / Web・クラウドサーバ営業担当
https://www.ki-zu-na.jp/ | note: note.com/web_craft_ai

※本紙の配信が不要な場合は、お手数ですがその旨ご返信ください。すぐに配信を停止いたします。

お気軽にご相談ください
「うちの場合はどうだろう」という段階のご相談も歓迎です。このメールにご返信いただければ、個別にお答えします。